

## 気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館「3.11 メモリアルイベント 開館 3 周年特別フォーラム」を開催しました（2022/3/20）

テーマ：災害伝承、地域連携

場 所：気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館 体験交流ホール A（宮城県気仙沼市）

3月20日（日）、気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館を会場に、気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館と東北大学災害科学国際研究所とのコラボ企画として、「3.11 メモリアルイベント 開館 3 周年特別フォーラム」を開催しました。伝承館と当研究所のコラボ企画は今回で 3 回目となり、「伝承館はこの一年何をやってきたか、次の一年何をするのか～市民協働推進状況報告～」をテーマに、地域、参加者の皆さまと一緒に考えていきました。

はじめに、伝承館の熊谷心氏から、令和3年度の伝承館での取り組みの報告として、伝承館の目的・役割について、また開催された企画・イベント・来館者数 15 万人達成セレモニーの様子などがありました。報告会では、各プロジェクトチームの代表が、どのような活動をしてきたのか、実際に訪れた仮設住宅視察の様子、ウォーキング体験などを報告しました。

当日は約 40 名の参加があり、参加者からは感想や意見、質問がありました。ネットを使って広める時の工夫や、防災・健康ウォークの最中に緊急事態が起きた時はどうするのかなどの質問もありました。それに対して、早速生かしていきたい、実際行われた防災ウォークの際は車を用意してすぐに対応できるように準備した、という回答がありました。またこのフォーラム開催に感謝するお言葉もいただきました。最後に、各プロジェクトチームから来年度の目標について発表があり、盛会のうちに終わりました。

本特別フォーラムは、伝承館の佐藤健一館長より総評、当研究所の佐藤翔輔准教授（防災社会推進分野）よりプロジェクトの経過説明と状況報告についての講評が行われました。



佐藤健一館長



活動報告の様子



高校生の活動報告の様子



佐藤翔輔准教授（講評）